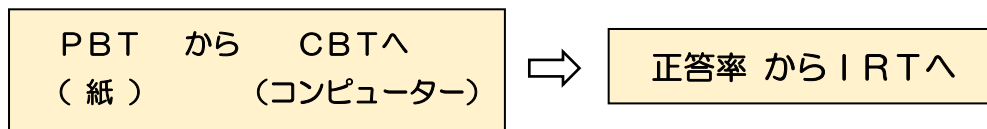


全国学力・学習状況調査の試験方式が変わります



Q1 今までと何が変わりますか

A1 紙の問題用紙から一人一台の端末を活用したオンラインの問題を解くことに変わります。令和7年度は、中学校の理科で実施、順次実施教科が増えます。



Q2 IRTとは何ですか。

A2 子どもたちの能力をより正確に測定する方法です。

IRTは、視力検査の仕組みに似ています。視力検査では、「何個見えたか」ではなく「どの大きさのものが」見えたかを評価しています。0.1の大きさのものが10回見えても視力1.0とはなりません。

視力検査を例としたイメージ

	素点方式（正答数・正答率）	IRT方式
得点(スコア)の表現方法	何個のランドルト環（C） を見ることができたか	どの大きさのランドルト環（C） を安定的に見ることができたか
得点(スコア)の例	5問/7問 (正答率71%) 4問/7問 (正答率57%) Aさん > Bさん	0.2 < 0.3 Aさん < Bさん

素点方式（正答数・正答率）

Aさんのほうが正答数・正答率が高くなる

IRT方式

Bさんのほうがスコア（視力）が高くなる

全国学力・学習状況調査では問題難易度は5段階、難しい問題ほどIRTスコアが高くなります。